

学校だより YAMADA

新潟市立山田小学校

令和8年 3月 9日



や ま だ

児童数 390 名

TEL. 025-377-2114

Email: e717yamada-yakifuna@city-niigata.ed.jp

<http://www.yamada-es.city-niigata.ed.jp/>

## かかわる力と慮る心<sup>おもんばか</sup>

校長 佐久間 郁子

山田小学校には、5・6年生で組織する委員会活動があります。情報、給食、体育、図書、飼育栽培、生活、保健、総務と全部で八つの委員会です。この便りを手にされた皆様の中にも、小学生の時に〇〇委員会だったという方もいらっしゃることでしょう。

数日前のことです。体育委員会の担当者から、次のような子どもたちのやり取りを聞きました。体育委員会は、寒い時期でも全校が体を動かしたり、友達と楽しく過ごしたりできたらと、「体育委員会とのリレー対決」というイベントを計画し、準備を進めつつありました。そんな中、インフルエンザ等の感染拡大防止で交流する活動を見合わせたり、体育館がLED付け替え工事のために使用できなくなったりと実施時期を見直さざるを得ない状況になりました。そこで、委員会の時間にイベントをどのようにするか子どもたちが話し合ったそうです。体育委員会としては、全校のみんなに楽しいと思える時間をつくりたいという願いやせっかく準備を進めてきたのだからという思いから、先送りして実施しようという意見があったそうです。その一方で、先送りして実施すると卒業を控えた6年生が休み時間に小学校の体育館で思いっきり遊べる時間がなくなるのではないかと(6年生使用となっている割り当てに食い込む)、6年生には休み時間に小学校で楽しく遊んだ思い出をたくさんつくってほしいなどの考えや思いから、実施を見合わせようという意見があったそうです。それぞれの意見を理解し合い、話し合った結果、今回は、見合わせるという結論にいたったと聞きました。私は、この話を聞いて「すばらしい!」という思いに浸ってしまいました。なぜなら、話し合いにより納得できる結論を探って決まったということだったからです。

子どもたちに限らず大人である私たちも、物事を進める上で合意形成を図ることは難しいと感じることがあります。複数の意見があった時、そのメリットやデメリット、それぞれの立場の人の心情などから総合的に考えて結論を出すという流れは、とても理想的です。しかし、自分とは違う意見やその理由をよく聞いて理解できないことだと思えます。こうした経験を重ねることで、かかわる力や折り合いを付ける力、慮る心が培われていくのではないのでしょうか。これは学校だけではなく、日々の保護者、地域の皆様の働き掛けとかかわりの積み重ねがあつてのことと思っております。

最後になりますが、この1年間、山田小学校の教育活動にご理解と温かいご支援を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。